

SAWAYAKA SHINKIN BANK Business condition report

# さわやか景況レポート

(2025年10月～12月期)


## 目次

景況DIレポート	・・・1
製造業	・・・2
卸売業	・・・3
小売業	・・・4
サービス業	・・・5
建設業	・・・6
不動産業	・・・7
特別調査	・・・8
さわやか信用金庫独自調査	・・・9
各種統計指数	・・・10



第72号 2026年2月

夢と未来のサポーター

 さわやか信用金庫

# 景況DIレポート

2025年10月～12月期（第3四半期） NO. 72

調査方法について

- ①製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種を対象に調査を実施いたしました。
- ②当金庫職員が、お取引先にご協力いただき聞き取り調査を実施しています。
- ③2025年度第3四半期を2025年度第2四半期と比較した実績と、2025年度第4四半期の見通しを調査したものです。
- ④特別調査(492先)では、四半期ごとに異なったテーマのアンケートを実施しています。
- ⑤独自調査(493先)ではさわやか信用金庫独自のテーマでアンケートを実施しています。
- ⑥3ヶ月ごと(毎四半期)にレポートを作成しています。

調査企業の内訳

(単位:先)

従業員数	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
1～4	53	11	97	25	13	16	215
5～9	39	6	17	12	13	5	92
10～19	30	7	6	15	12	3	73
20～29	10	5	7	7	10	2	41
30～49	9	3	4	14	8	1	39
50～99	14	3	2	4	3	1	27
100以上	8	0	0	0	0	0	8
計	163	35	133	77	59	28	495

DIについて

DI(Diffusion Index)とは、景気動向指数ともいわれ、景気の動きの方向を判断する指標です。「増加(楽)」の回答割合から「減少(苦しい)」の割合を差し引いて表します。たとえば、増加と回答した企業が40%、減少と回答した30%であった場合、「40%－30%」＝10ポイントとなります。調査結果は、DIに季節調整を行って表しています。

季節調整について

統計指数から季節的な要因を取り除き、分析しやすい形にすることをいいます。例えば、『ビールは夏に売れる』『ボーナス時期には消費が増加する』等、統計指標には1年を周期とする季節的な要因があります。景気動向を見るためには、このような季節変動を考慮する必要があるため、季節調整を行います。

今期のDI

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合
業況	-2.4	1.8	-13.2	-7.2	15.9	29.7	-1.8
売上	1.6	-6.1	1.1	-4.6	13.6	30.7	3.0
収益	-4.0	2.3	-4.6	-13.3	13.9	35.3	-0.8

今期のコメント

製造業	業況・収益はわずかに改善、売上も改善
卸売業	業況・収益は大幅に改善、売上も改善
小売業	業況・売上・収益ともに改善
サービス業	業況はやや改善、売上・収益はやや悪化
建設業	業況はわずかに改善、売上はわずかに悪化、収益は悪化
不動産業	業況は改善、売上・収益は大幅に改善

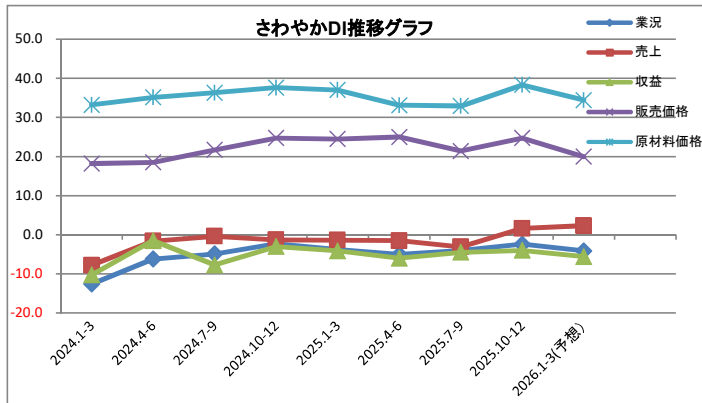
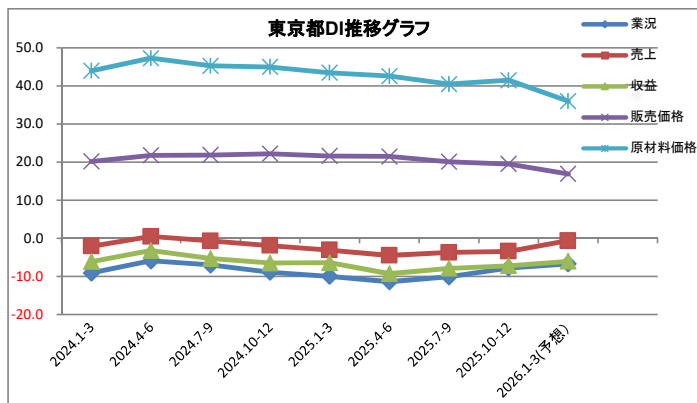
# 製造業

東京都全体 調査先有効回答先数 1,976先

	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3 (予想)
業況	-8.9	-10.0	-11.4	-10.1	-7.8	-6.7
売上	-1.9	-3.1	-4.5	-3.7	-3.4	-0.6
収益	-6.5	-6.4	-9.3	-7.9	-7.2	-6.0
販売価格	22.2	21.6	21.5	20.1	19.5	16.9
原材料価格	45.0	43.5	42.6	40.5	41.5	36.0
借入実施	19.9	18.9	17.8	16.6	17.5	13.6
設備実施	16.6	17.9	17.0	17.4	16.3	15.7

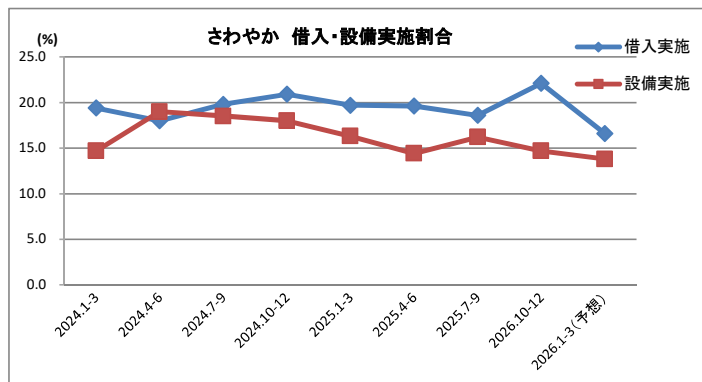
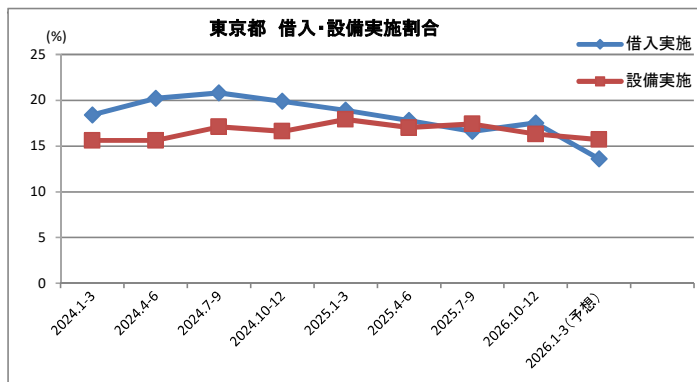
さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 163先

	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3 (予想)
業況	-2.3	-3.8	-5.0	-4.0	-2.4	-4.1
売上	-1.3	-1.4	-1.5	-3.1	1.6	2.3
収益	-3.0	-4.1	-6.0	-4.5	-4.0	-5.6
販売価格	24.7	24.5	25.0	21.4	24.7	20.0
原材料価格	37.6	37.0	33.1	32.9	38.3	34.4
借入実施	20.9	19.7	19.6	18.6	22.1	16.6
設備実施	18.0	16.3	14.4	16.2	14.7	13.8



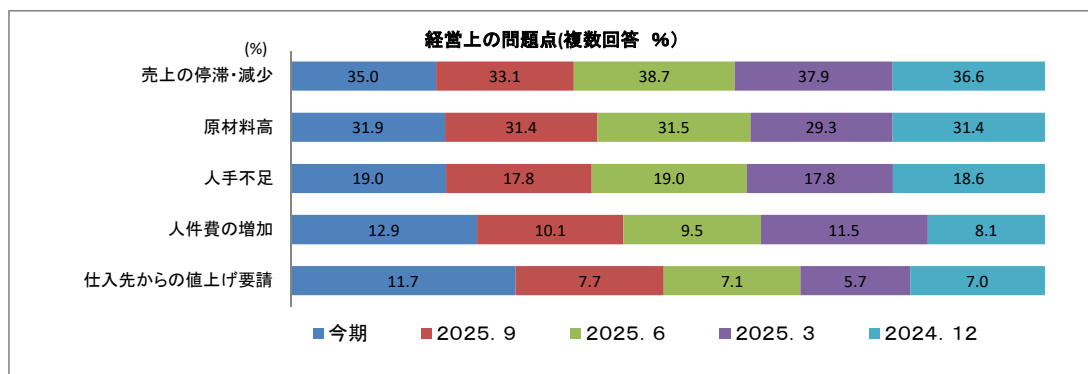
業況・売上・収益DIはともに対前期比わずかに改善したが、依然としてマイナス水準が続いている。販売価格DIは対前期比わずかに低下し19.5となった。原材料価格DIは対前期比わずかに上昇し41.5となり、依然として高止まっている。

業況・収益DIは対前期比改善したが、マイナス水準が続いている。売上DIは対前期比改善しプラスへ転じた。販売価格DIは対前期比やや上昇し、24.7となった。原材料価格DIは対前期比上昇し38.3となったが、「東京都全体」と比較してやや低水準で推移した。



借入実施割合は今期17.5%と対前期比わずかに増加した。設備実施割合は今期16.3%と対前期比わずかに減少した。

借入実施割合は今期22.1%と対前期比やや増加した。設備実施割合は今期14.7%と対前期比わずかに減少した。



\*経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先ご回答)では、1位は5期連続で、「売上の停滞・減少」の回答割合が高く35.0%となった。2位は「原材料高」(31.9%)の回答が続き、3位は「人手不足」(19.0%)の回答となった。

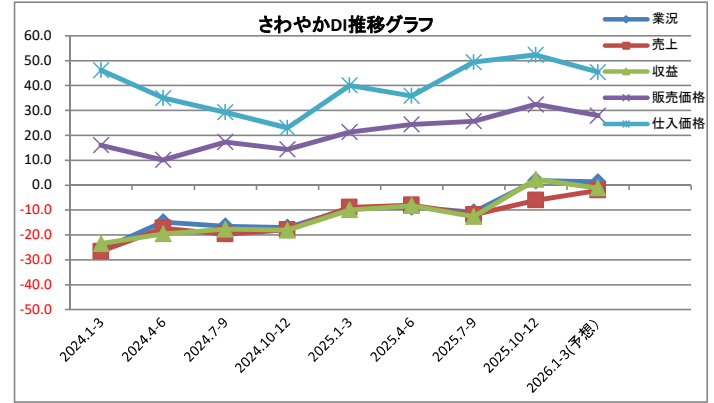
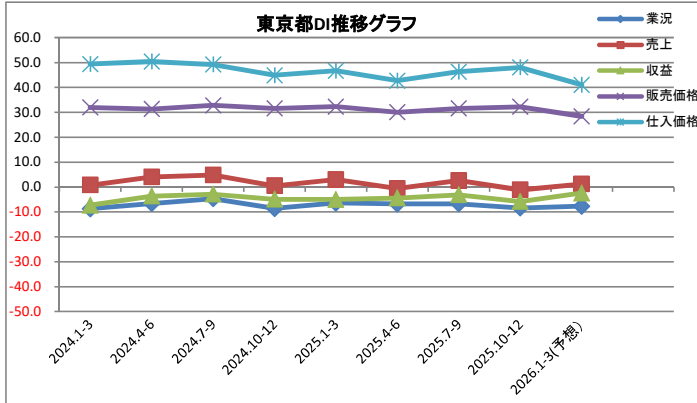
# 卸売業

東京都全体 調査先有効回答先数 686先

	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3 (予想)
業況	-8.6	-6.4	-6.8	-6.7	-8.4	-7.7
売上	0.5	3.0	-0.6	2.6	-1.2	1.2
収益	-4.9	-5.0	-4.4	-3.1	-5.8	-2.4
販売価格	31.6	32.3	30.0	31.6	32.2	28.4
仕入価格	44.9	46.7	42.7	46.3	48.0	41.0
借入実施	22.1	23.3	23.0	22.0	25.1	19.1
設備実施	18.9	15.5	16.5	17.8	16.2	14.6

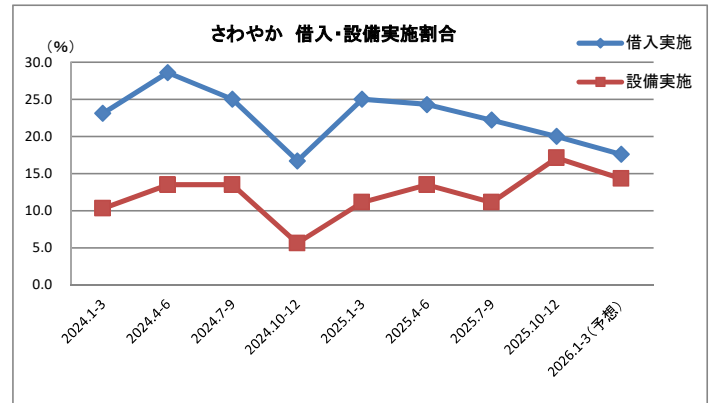
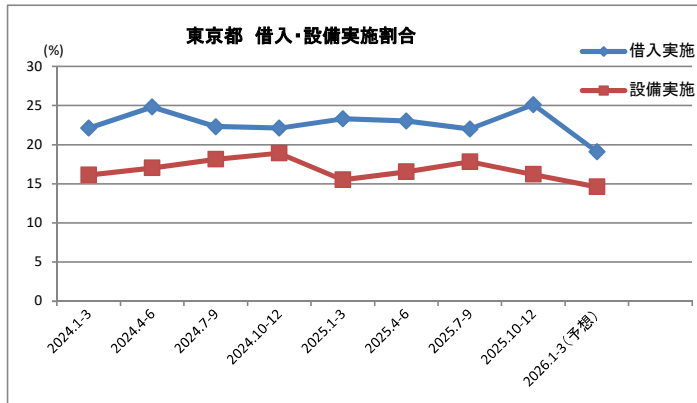
さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 35先

	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3 (予想)
業況	-17.0	-9.5	-8.8	-10.8	1.8	1.3
売上	-17.9	-8.9	-8.0	-11.9	-6.1	-2.1
収益	-18.1	-9.9	-8.3	-12.6	2.3	-1.2
販売価格	14.4	21.3	24.4	25.7	32.4	27.9
仕入価格	23.0	40.1	35.8	49.4	52.3	45.4
借入実施	16.7	25.0	24.3	22.2	20.0	17.6
設備実施	5.6	11.1	13.5	11.1	17.1	14.3



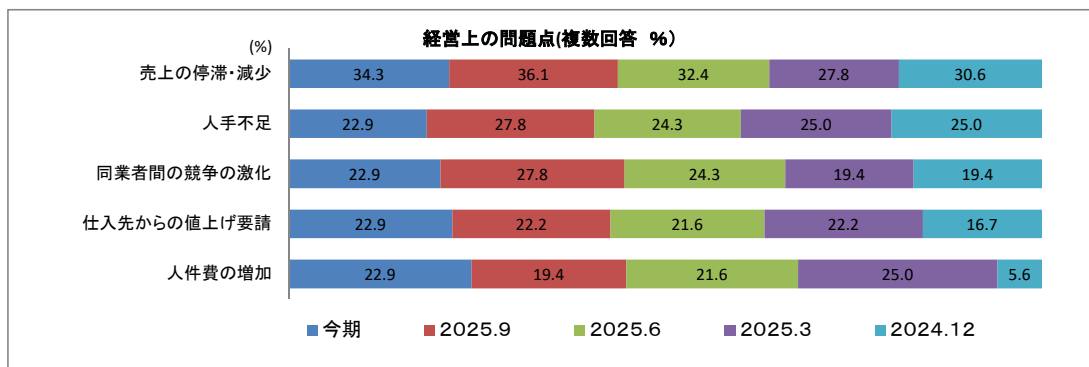
業況・売上・収益DIはともに対前期比やや悪化し、いずれもマイナス水準である。  
販売価格・仕入価格DIともに対前期比わずかに上昇し、仕入価格は48.0と高止まりしている。

業況・収益DIは対前期比大幅に改善し、ともにプラス水準へ転じた。  
売上DIは対前期比改善したが、依然としてマイナス水準である。  
販売価格・仕入価格DIはともに対前期比上昇し「東京都全体」と比較して、販売価格はほぼ同水準、仕入価格はやや高水準で推移した。



借入実施割合は対前期比やや増加し、今期25.1%となった。  
設備実施割合は対前期比わずかに減少し、今期16.2%となった。

借入実施割合は対前期比やや減少し、今期20.0%となった。  
設備実施割合は対前期比増加し、今期17.1%となった。



\* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先ご回答)では、1位は5期連続で、「売上の停滞・減少」の回答割合が高く34.3%となった。2位は「人手不足」「同業者間の競争の激化」「仕入先からの値上げ要請」(同率2位22.9%)の回答が続いた。

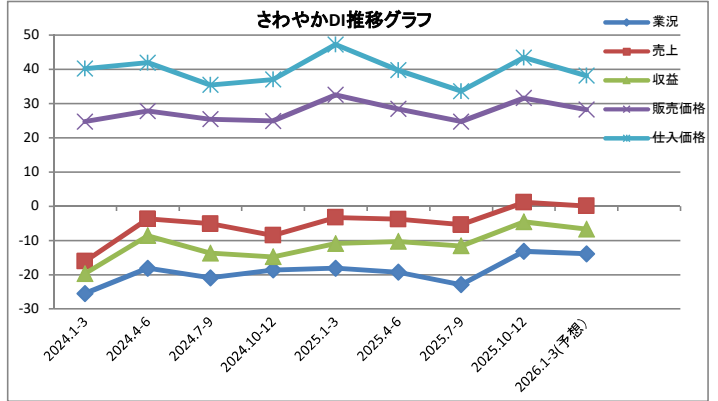
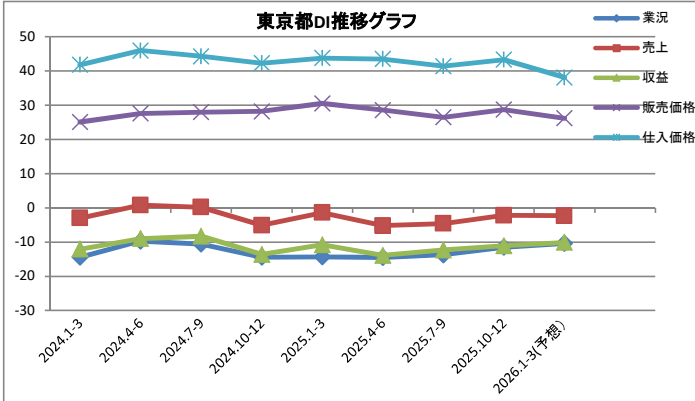
# 小売業

東京都全体 調査先有効回答先数 1,211先

	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3 (予想)
業況	-14.4	-14.3	-14.5	-13.7	-11.5	-10.4
売上	-5.1	-1.4	-5.2	-4.6	-2.2	-2.3
収益	-13.6	-10.8	-13.9	-12.3	-11.1	-10.1
販売価格	28.2	30.5	28.6	26.5	28.7	26.2
仕入価格	42.3	43.8	43.5	41.4	43.3	38.1
借入実施	9.5	9.4	9.1	8.9	9.6	7.0
設備実施	7.4	7.8	7.2	7.0	6.3	6.2

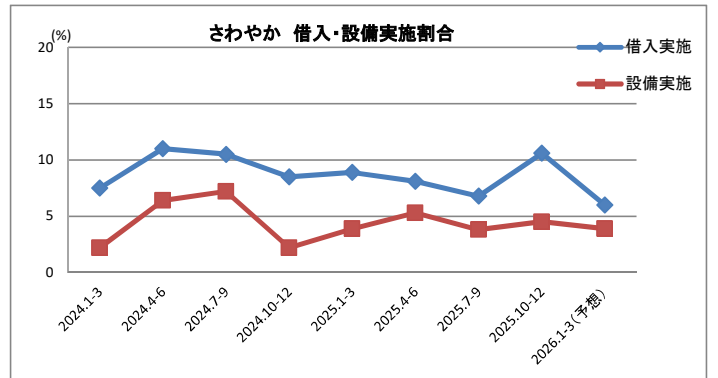
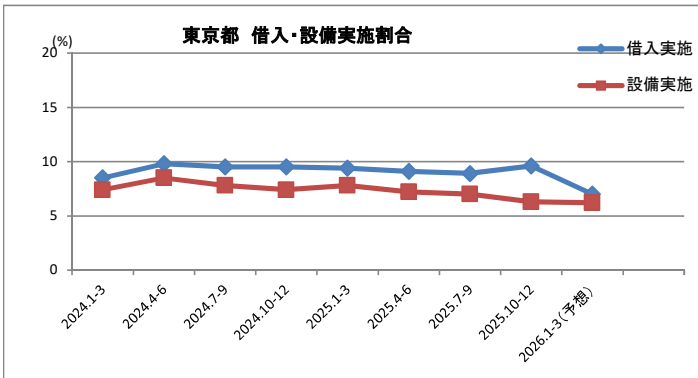
さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 133先

	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3 (予想)
業況	-18.6	-18.1	-19.3	-22.9	-13.2	-13.9
売上	-8.5	-3.3	-3.8	-5.4	1.1	0.1
収益	-14.8	-10.9	-10.3	-11.6	-4.6	-6.7
販売価格	24.9	32.5	28.4	24.7	31.6	28.2
仕入価格	37.0	47.2	39.7	33.6	43.4	38.1
借入実施	8.5	8.9	8.1	6.8	10.6	6.0
設備実施	2.2	3.9	5.3	3.8	4.5	3.9



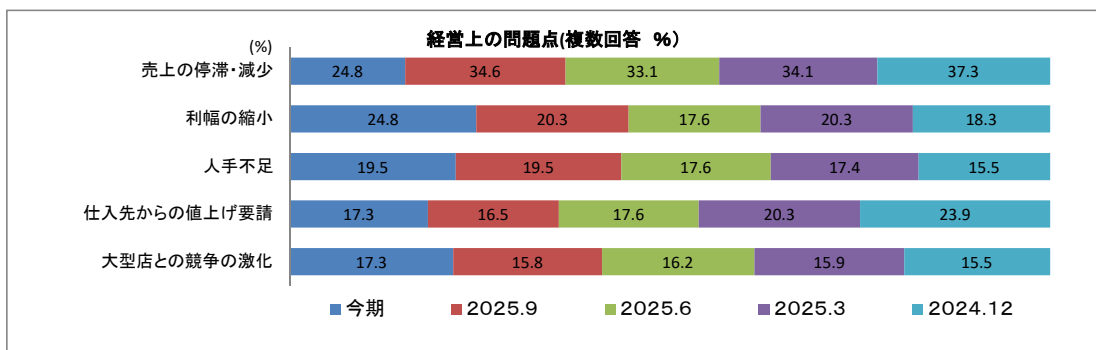
業況・売上・収益DIはともに対前期比わずかに改善したが、いずれも依然としてマイナス水準である。  
販売価格・仕入価格DIは対前期比やや上昇し、仕入価格は、43.3と高止まりしている。

業況・売上・収益DIはともに対前期比改善したが、業況・収益DIは依然としてマイナス水準である。売上DIはプラス水準へ転じた。  
販売価格DIは対前期比上昇し、仕入価格DIも対前期大幅に上昇した。仕入価格は「東京都全体」と比較してほぼ同水準となった。



借入実施割合は対前期比わずかに上昇し、今期9.6%となった。  
設備実施割合は対前期比わずかに減少し、今期6.3%となった。

借入実施割合は対前月比やや増加し、今期10.6%となった。  
設備実施割合は対前期比わずかに増加し、今期4.5%となった。



\* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先ご回答)では、1位は「売上の停滞・減少」「利幅の縮小」の回答割合が高く(同率1位24.8%)、3位は「人手不足」(19.5%)の回答割合が続いた。

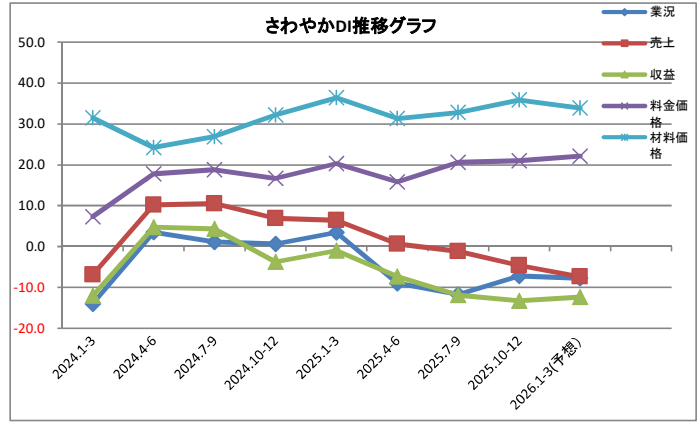
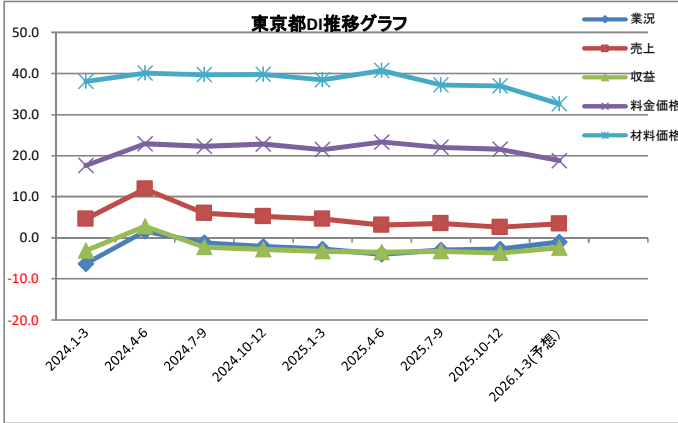
# サービス業

東京都全体 調査先有効回答先数 1,104先

	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3 (予想)
業況	-2.1	-2.7	-4.0	-3.0	-2.7	-1.0
売上	5.2	4.6	3.1	3.5	2.6	3.4
収益	-2.8	-3.3	-3.5	-3.3	-3.7	-2.4
料金価格	22.8	21.5	23.3	22.0	21.6	18.8
材料価格	39.8	38.5	40.7	37.2	37.0	32.6
借入実施	15.6	14.7	14.3	14.0	15.3	12.3
設備実施	18.3	17.7	18.8	19.3	20.0	20.0

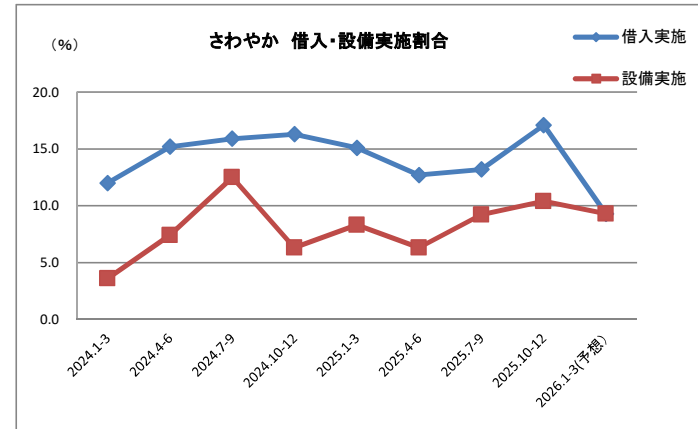
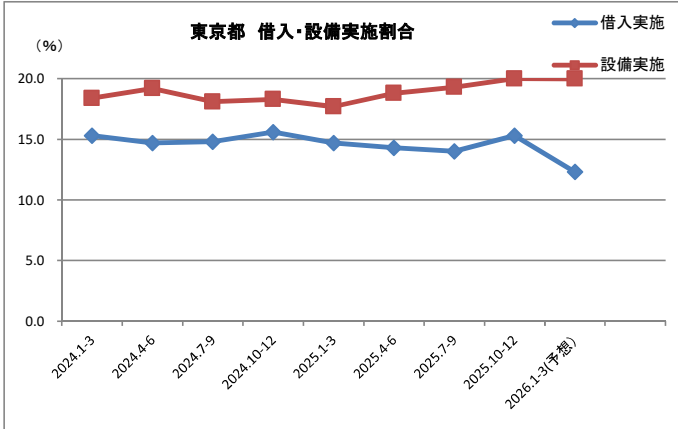
さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 77先

	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3 (予想)
業況	0.6	3.4	-9.0	-11.8	-7.2	-7.8
売上	6.9	6.4	0.6	-1.2	-4.6	-7.4
収益	-3.8	-1.0	-7.4	-11.9	-13.3	-12.4
料金価格	16.7	20.3	15.8	20.6	21.0	22.1
材料価格	32.2	36.4	31.3	32.8	35.9	33.9
借入実施	16.3	15.1	12.7	13.2	17.1	9.3
設備実施	6.3	8.3	6.3	9.2	10.4	9.3



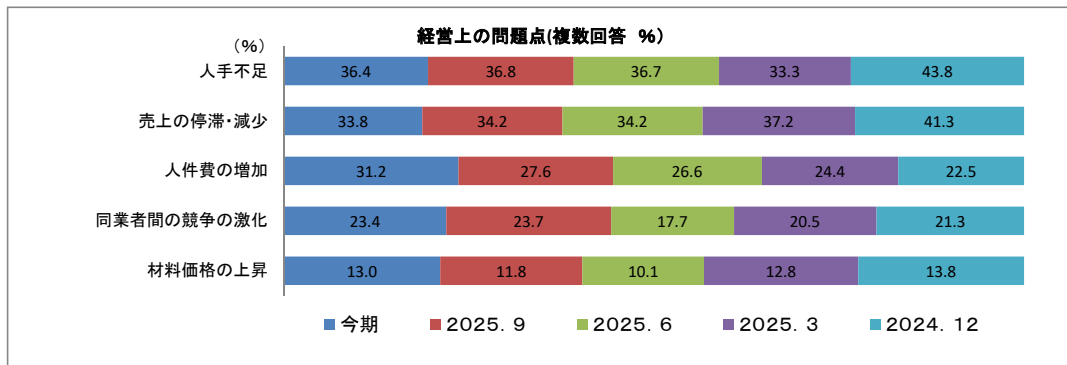
業況DIは対前期比わずかに改善し、売上・収益DIはわずかに悪化した。業況・収益DIは依然としてマイナス水準である。料金価格・材料価格DIはともに対前期比わずかに低下したが、材料価格は37.0と依然として高水準である。

業況DIは対前期比やや改善し、売上・収益DIは対前期比やや悪化した。業況・売上・収益DIともに依然としてマイナス水準である。料金価格・材料価格DIは対前期比やや上昇し、「東京都全体」と比較して、ほぼ同水準となった。



借入実施割合は対前期比わずかに増加し、今期15.3%となった。設備実施割合は対前期比わずかに増加し、今期20.0%となった。

借入実施割合は対前期比やや増加し、今期17.1%となった。設備実施割合は対前期比わずかに増加し、今期10.4%となった。



\*経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先ご回答)では、1位は3期連続で、「人手不足」の回答割合が高く36.4%となった。2位は「売上の停滞・減少」(33.8%)の回答が続き、3位は「人件費の増加」(31.2%)の回答となった。

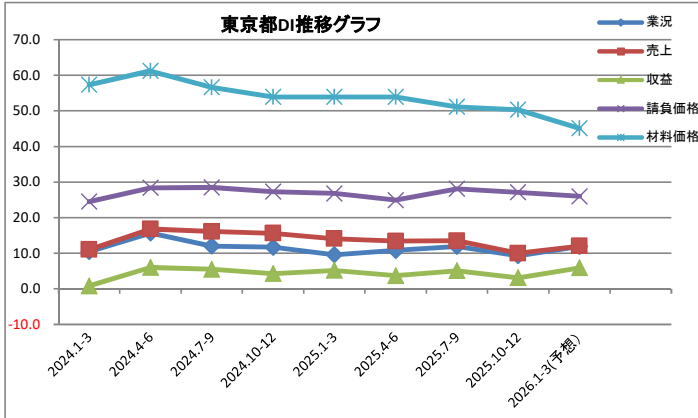
# 建設業

東京都全体 調査先有効回答先数 966先

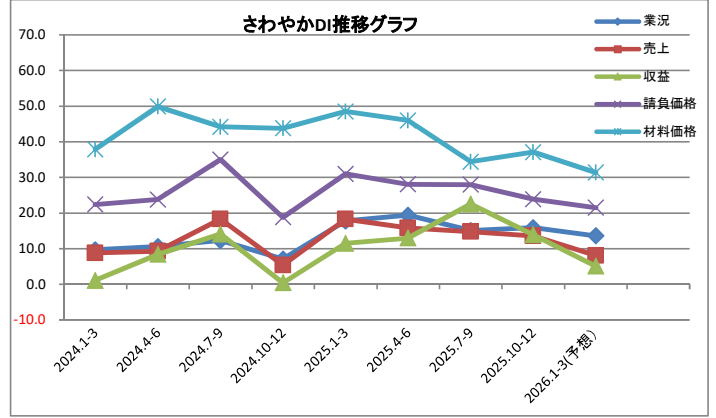
	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3 (予想)
業況	11.7	9.6	10.8	11.9	9.3	11.9
売上	15.6	14.1	13.4	13.5	10.0	12.0
収益	4.3	5.2	3.7	5.1	3.1	5.9
請負価格	27.3	26.8	24.9	28.1	27.1	26.0
材料価格	53.9	53.9	53.9	51.1	50.3	45.1
借入実施	25.3	22.7	21.9	23.4	25.3	17.6
設備実施	18.4	17.8	16.1	17.1	15.2	13.6

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 59先

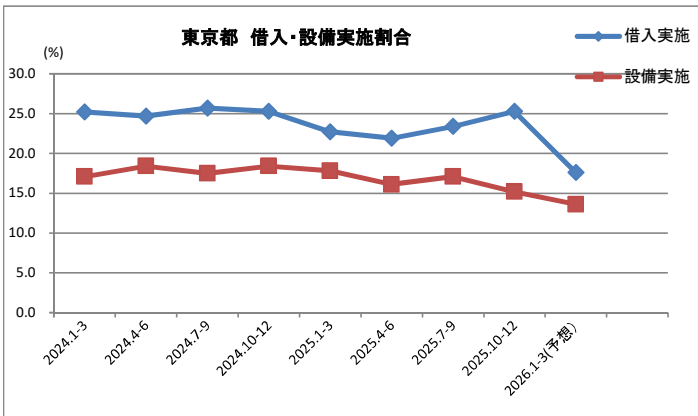
	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3 (予想)
業況	7.1	17.8	19.4	15.1	15.9	13.6
売上	5.4	18.3	15.8	14.8	13.6	8.1
収益	0.4	11.5	13.0	22.5	13.9	5.1
請負価格	18.8	31.0	28.1	28.0	23.9	21.5
材料価格	43.8	48.5	46.0	34.4	37.1	31.4
借入実施	27.1	27.9	24.6	23.0	27.1	22.0
設備実施	15.3	8.2	6.6	9.8	10.2	10.2



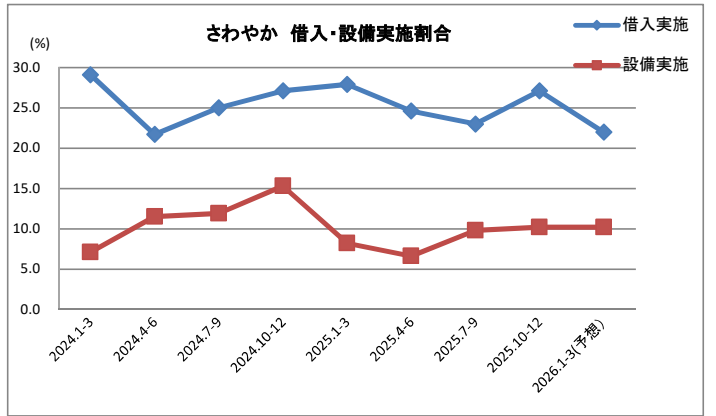
業況・売上・収益DIはもともと対前期比やや悪化した。請負価格DIは対前期比わずかに低下した。材料価格DIは対前比わずかに低下したが、50.3と依然として高水準である。



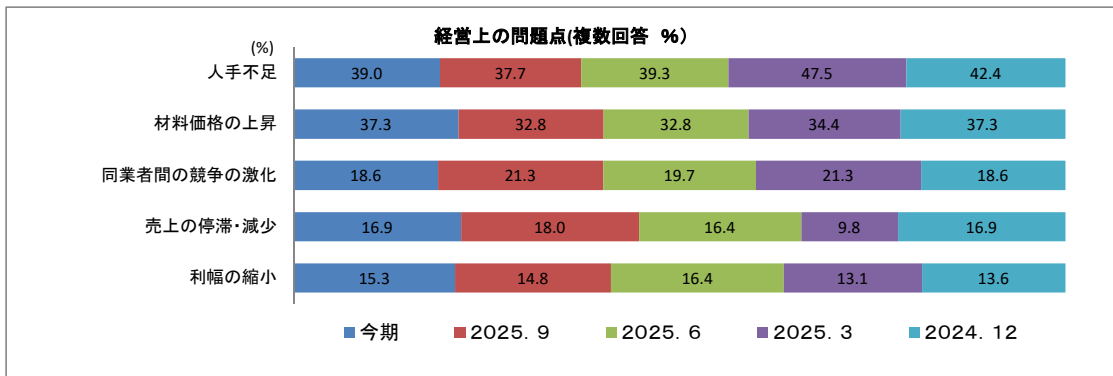
業況DIは対前期比わずかに改善し、売上DIは対前期比わずかに悪化し、収益DIは対前期比悪化した。請負価格DIは対前期比やや低下し、材料価格DIは対前期比やや上昇した。材料価格は37.1となり、「東京都全体」と比較して低水準で推移した。



借入実施割合は対前期比わずかに増加し、今期25.3%となった。設備実施割合は対前期比わずかに減少し、今期15.2%となった。



借入実施割合は対前期比やや増加し、今期27.1%となった。設備実施割合は対前期比わずかに増加し、今期10.2%となった。



\*経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先ご回答)では、1位は5期連続で、「人手不足」(39.0%)の回答割合が高かった。2位は「材料価格の上昇」(37.3%)の回答が続き、3位は「同業者間の競争の激化」(18.6%)の回答となった。

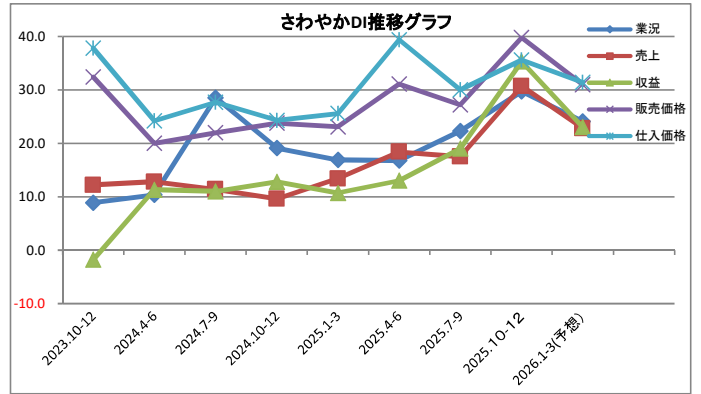
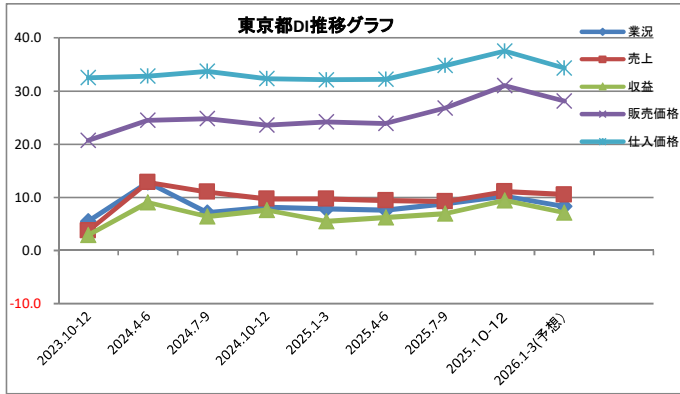
# 不動産業

東京都全体 調査先有効回答先数 566先

	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3 (予想)
業況	8.1	7.8	7.6	8.8	10.2	8.3
売上	9.7	9.7	9.4	9.2	11.1	10.5
収益	7.6	5.5	6.2	6.9	9.4	7.1
販売価格	23.6	24.2	23.9	26.8	31.0	28.1
仕入価格	32.3	32.1	32.2	34.8	37.5	34.3
在庫数量	-9.7	-9.1	-10.8	-11.4	-9.8	-9.5
資金繰り	0.4	0.3	-1.3	-0.2	2.3	2.6

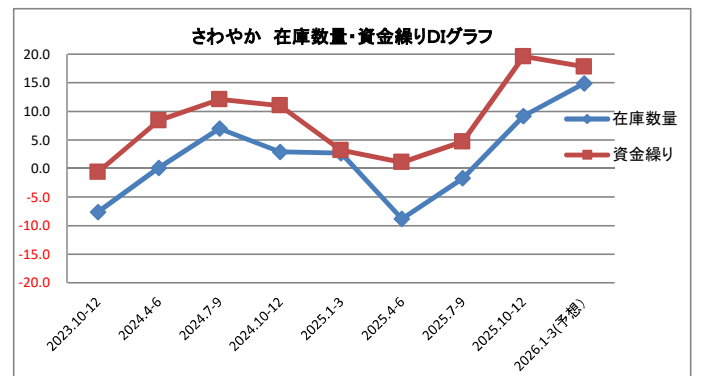
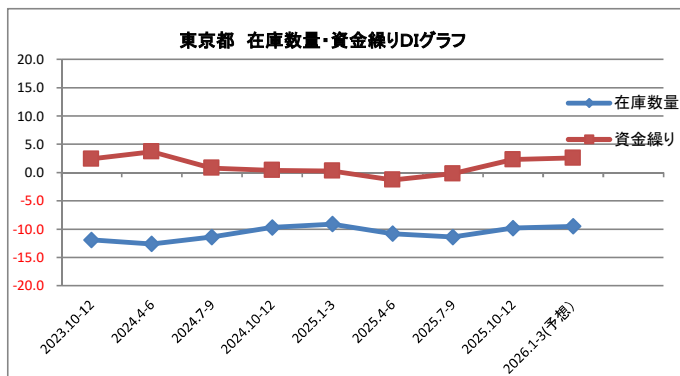
さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 28先

	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3 (予想)
業況	19.1	16.9	16.8	22.3	29.7	24.1
売上	9.6	13.4	18.4	17.5	30.7	22.8
収益	12.8	10.7	13.0	19.0	35.3	23.0
販売価格	23.8	23.1	31.1	27.2	39.8	31.0
仕入価格	24.3	25.6	39.4	30.0	35.6	31.4
在庫数量	2.9	2.7	-8.8	-1.7	9.2	14.9
資金繰り	11.0	3.2	1.1	4.7	19.6	17.8



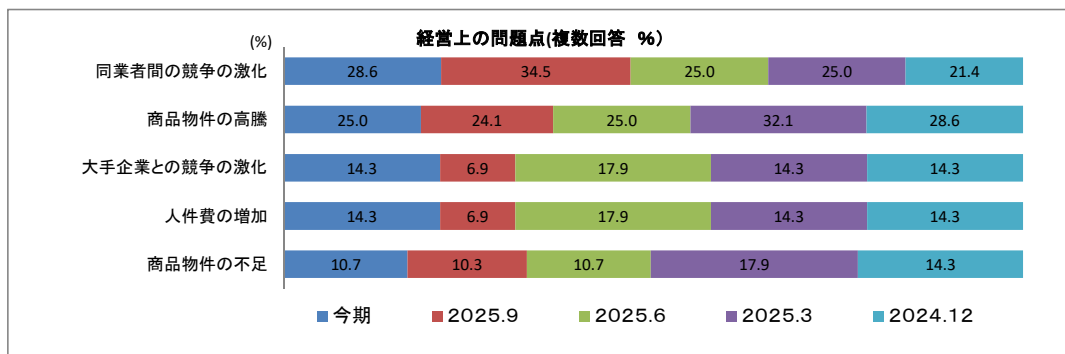
業況・売上・収益DIはともに対前期比わずかに改善した。販売価格DIは対前期比やや上昇し、今期は31.0となった。仕入価格DIは対前期比やや上昇し、今期は37.5となった。

業況DIは対前期比改善し、売上・収益DIは対前期比大幅に改善した。販売価格DIは対前期比大幅に上昇し、仕入価格DIも対前期比上昇した。「東京都全体」と比較して、販売価格は39.8と高水準となり、販売価格は35.6とやや低水準となった。



在庫数量DIは対前期比わずかに増加し、今期△9.8と依然としてマイナスで推移した。資金繰りDIは対前期比わずかに改善し、今期は2.3とプラスへ転じた。

在庫数量DIは対前期比大幅に増加し、今期9.2とプラスへ転じた。資金繰りDIは対前期比大幅に改善し、今期19.6となった。

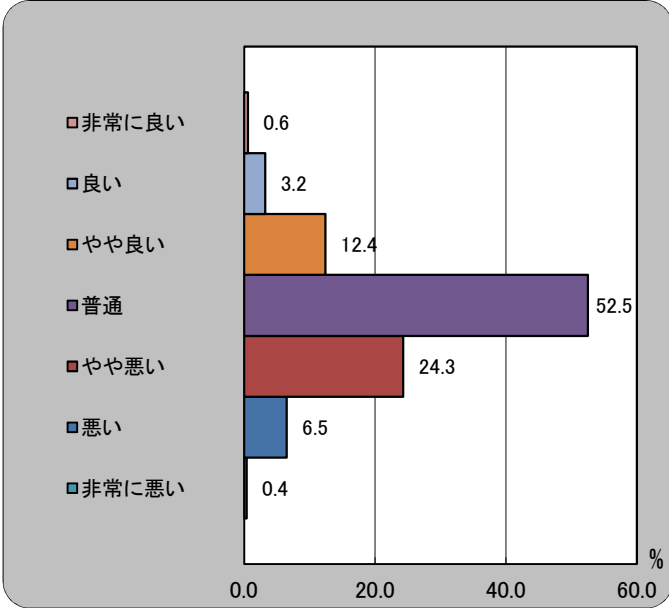


\*経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先ご回答)では、1位は3期連続で、「同業者間の競争の激化」(28.6%)の回答割合が高く、2位は「商品物件の高騰」(25.0%)の回答が続き、3位は「大手企業との競争の激化」「人件費の増加」(同率3位14.3%)となった。

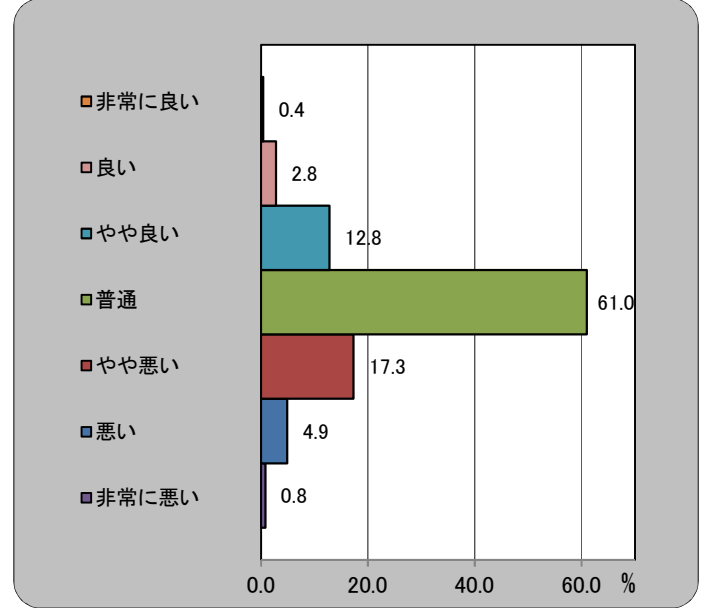
# 特別調査：2026年（令和8年）の経営見通し

《さわやか信用金庫・アンケート回答 492先》

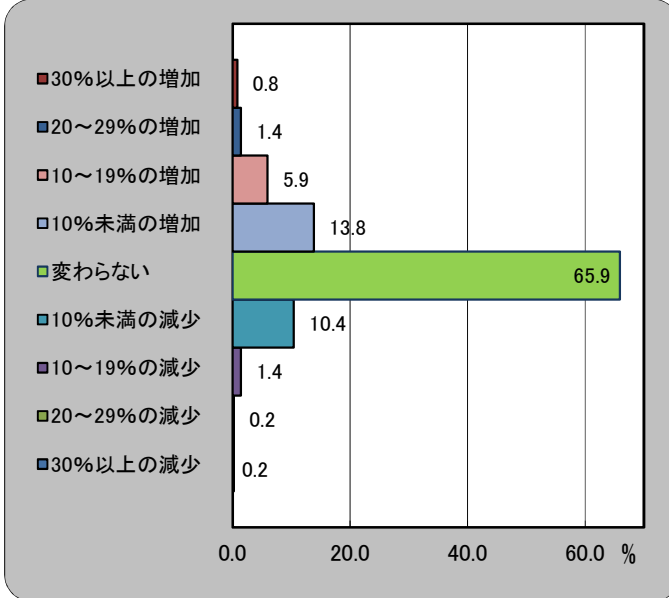
①2026年（令和8年）の景気見通し



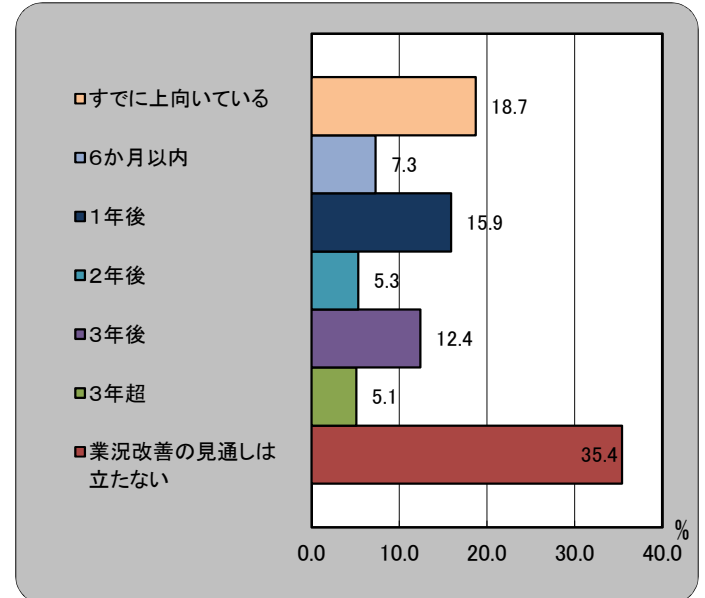
②2026年の自社の業況（景気）見通し



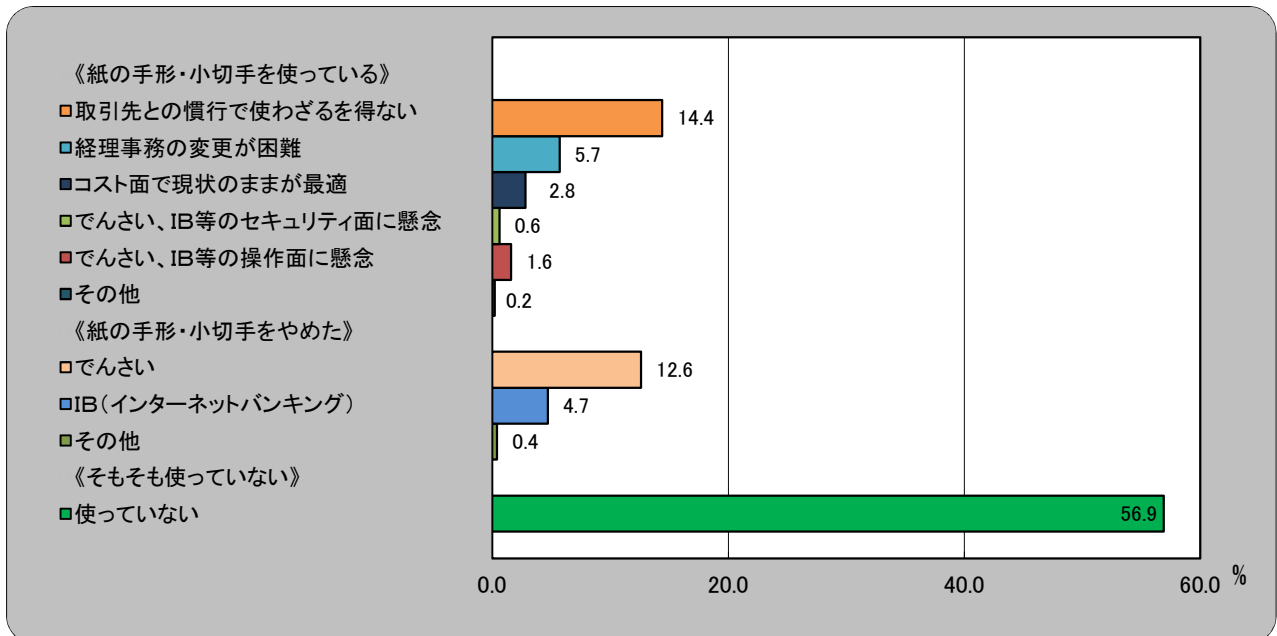
③2026年の売上額伸び率見通し



④自社の業況が上向く転換点の見通し

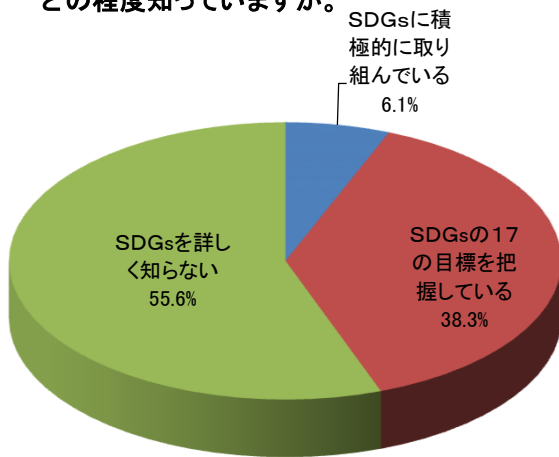


⑤紙手形・小切手の利用状況と現在の決済手段

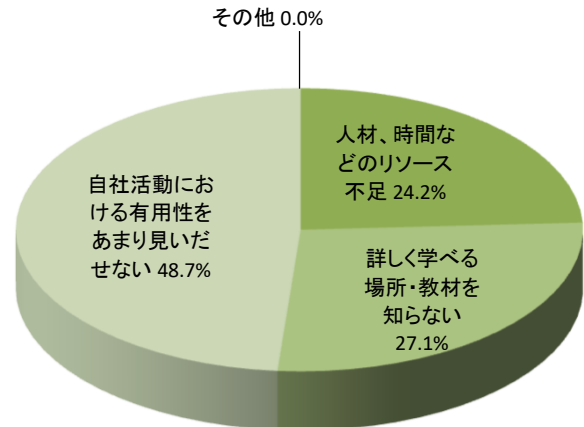


## さわやか信用金庫独自調査:SDGs(持続可能な開発目標について (さわやか信用金庫・アンケート回答 493先)

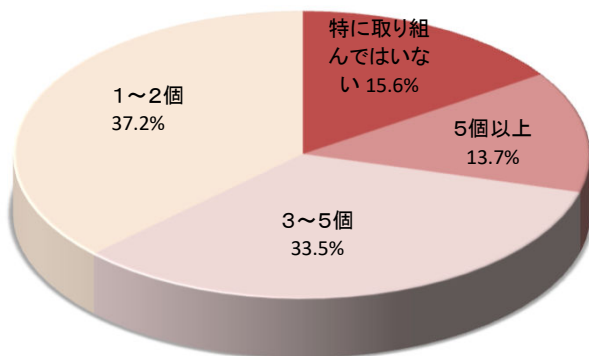
①SDGs(持続可能な開発目標)について、どの程度知っていますか。



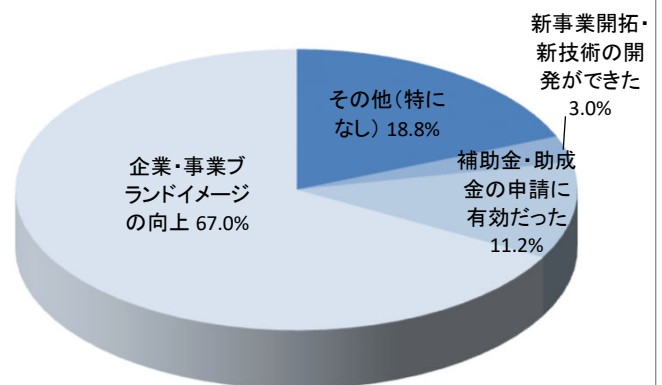
②SDGsを学ぶ上で、障害となっている要因は何ですか。



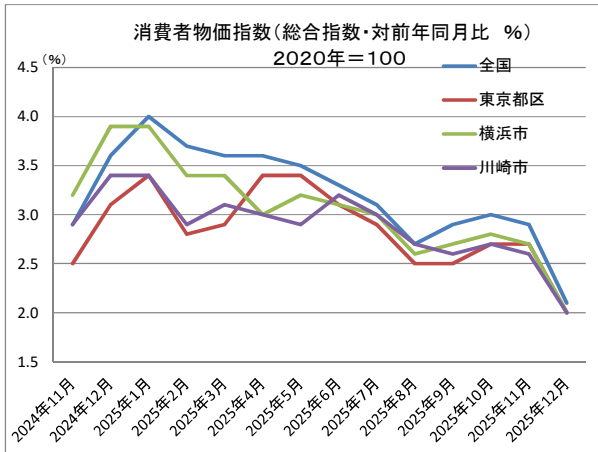
③SDGsの17の目標の中で、取り組んでいる目標はいくつありますか。



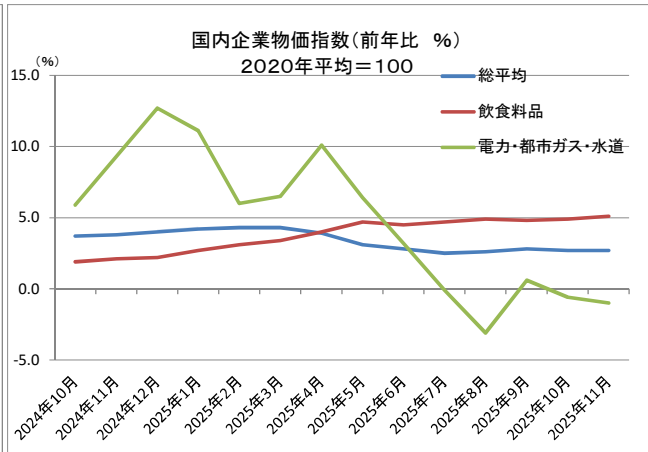
④SDGsに取り組むことで、どのようなメリットがありましたか。



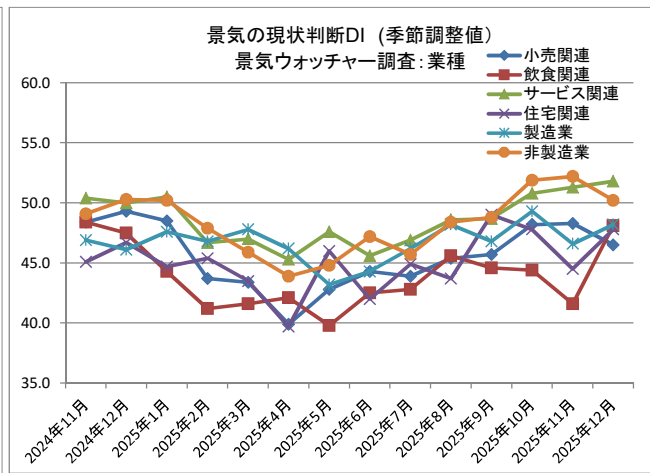
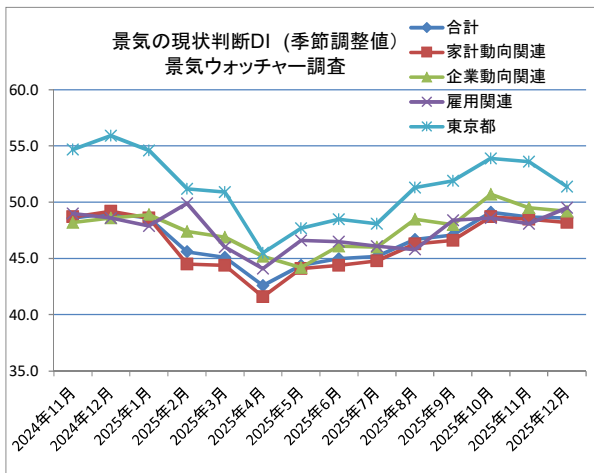
# 各種統計指数



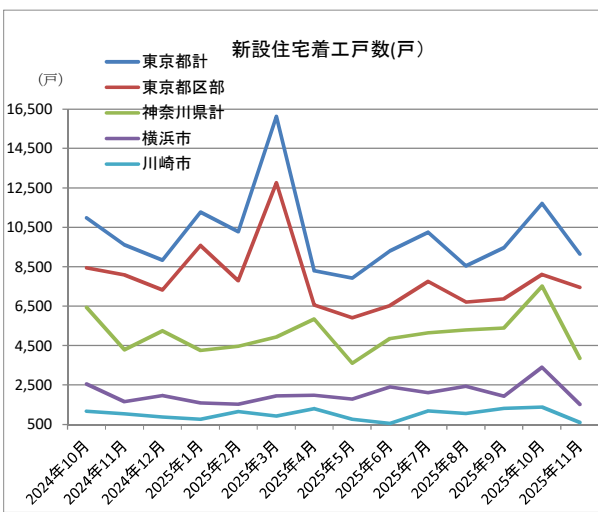
(出典:総務省統計局)



(出典:日本銀行)



(出典:内閣府)



(出典:国土交通省・東京都・神奈川県)

内閣府月例経済報告/基調判断の変化	
2025年1月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
2025年2月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
2025年3月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
2025年4月	景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。
2025年5月	景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。
2025年6月	景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。
2025年7月	景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。
2025年8月	景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。
2025年9月	景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。
2025年10月	景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。
2025年11月	景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。
2025年12月	景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。

(出典:内閣府)

# さわやか信用金庫 コンサルティングセンターからのご案内

次世代経営者・幹部向け講座

## さわやか塾

### 【さわやか塾】とは…

企業は「環境適応業」。強い企業ではなく、環境に適応できた企業が生き残る、これが経営の原理原則です。2020年からのコロナ禍にあつて、新しい顧客の創造が停滞し、顧客数が伸び悩んでいる企業が多く見られます。そんな不確実性の高い経営環境において、従来のビジネスモデルから新たなビジネスモデルを再構築することが必要不可欠です。

- 当塾は、経営の基本に着眼し、『体系的な経営の基本の体得と時代を生き抜く先見性』を磨くことを目的としています。また、勉強会の開催のみならず、各種経営情報の提供を加え、総合的に皆様の経営活動をご支援させていただきます。
- 異業種の次世代経営者、幹部の方々が集まる当塾で新たな交流の場としてもご活用頂けます。
- 次世代経営者として具備すべき条件は、「決断力」「統率力」「実行力」の総合力発揮といわれております。

**決断力** - 本物と本質を見抜く能力

**統率力** - 自分より優れている能力を持つ人々を部下として、自在に動かす力

**実行力** - 意志力と行動力であり、究極は自力開発即ち自己啓発と健康管理

- 志高く向上心ある若手経営者、後継者・経営幹部の皆さまのご参加をお待ちしております。

※当塾は、経営コンサルティング企業の㈱タナベコンサルティング（プライム市場上場）と提携し塾生の経営支援を行って参ります。

実施要領		申込要領	
対象者	若手経営者、後継者、経営幹部の皆様	お申込方法	別紙 入会申込書にご記入のうえ、担当者にお渡し下さい。受講料は、後日ご請求させていただきます。
期間	2026年5月から1年間	お申込期限	2026年3月31日（火）
募集人数	20名 （定員に達し次第、締切とさせていただきます。）	お問合せ お申込先	さわやか信用金庫 コンサルティングセンター内 「さわやか塾」事務局 〒144-0047 東京都大田区萩中 2-2-1 TEL：03-3742-0626 FAX：03-3742-0724
受講料	お一人様 ￥ 93,500（税込） ※領収書につきましては発行日は5月1日以降となります。		

※受講料については、年会費として一括で頂戴いたします。  
途中、ご欠席の日程がございましたも一部返却は致しかねます。

夢と未来のサポーター  
さわやか信用金庫

